

福山港のコンテナ定期航路（高麗海運）の減便について

1 要旨・目的

福山港において高麗海運（韓国）が運航する韓国向けコンテナ航路（週2便）が、4月第1週から、週1便となったので報告する。

これにより、福山港における韓国向けコンテナ航路は週4便から3便へ減便となる。

2 現状・背景

高麗海運は、1996年2月から福山港において韓国航路を開設し、釜山、蔚山向けなどのサービスを提供している。

この度の当該航路の減便は、当該船社における老朽船舶の廃船や船舶の売却処分等による配船の見直しに伴う航路改編により実施されたもの。

3 概要

(1) 航路改編の概要

【変更前：週2便】

曜日	最大積載量	寄港地
木	342TEU	福山(木)－徳島(金)－今治(土)－水島(土)－細島(月) －釜山(火/水)－福山(木)
火	342TEU	福山(火)－松山(水)－広島(水)－釜山(木)－蔚山(木/金)－ 浦項(金)－釜山(土/日)－今治(月)－水島(火)－福山(火)

減便

【変更後：週1便】



曜日	最大積載量	寄港地
火	954TEU	福山(火)－広島(水)－大分(木)－蔚山(金)－釜山(土) －大阪(月)－神戸(月)－水島(火)－福山(火)

改編後

(2) 今後の対応

ア この度の航路改編により減便の対象となる木曜寄港便は、他の船社において釜山から福山港に木曜寄港する航路があることに加え、改編後に運航される船舶が大型化されることから、利用荷主において大きな影響は生じない見込み。

イ 高麗海運を含め韓国船社における今後の航路改編の動きについて注視するとともに、福山港における韓国航路のニーズや利用状況を説明するなど、引き続き、福山港におけるコンテナ航路の維持・拡充に努める。

(参考)

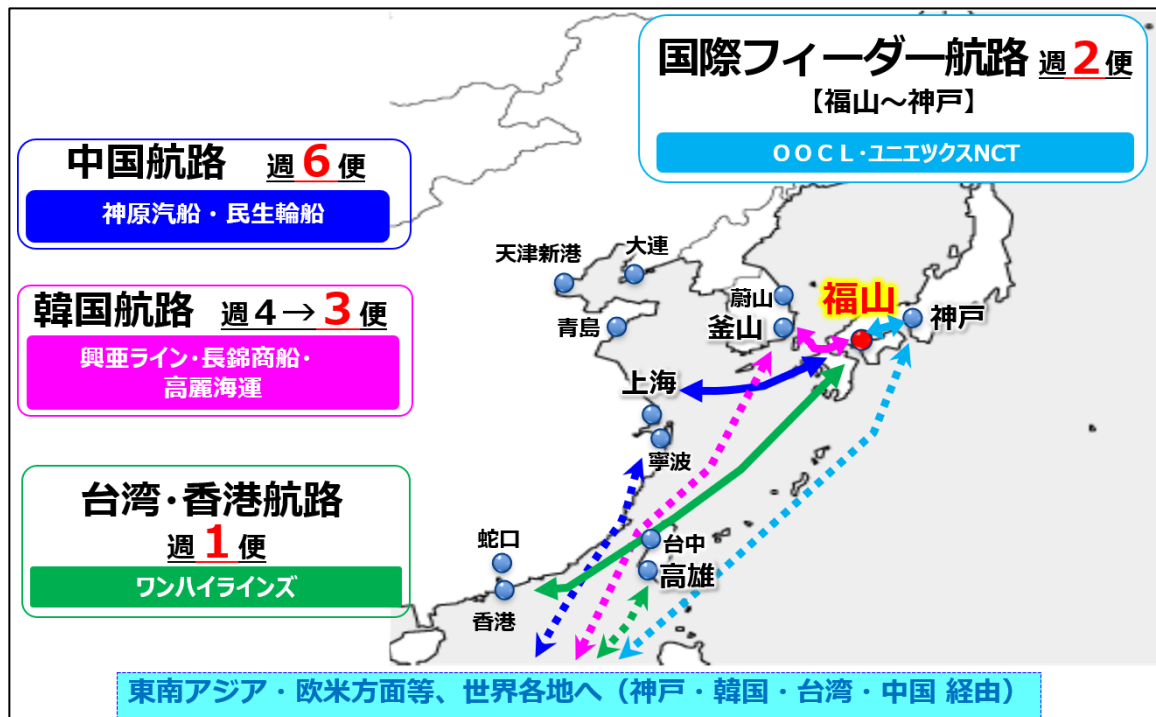
1 福山港におけるコンテナ貨物取扱量の推移

単位:TEU

年	輸出	輸入	合計	(うち韓国航路)	(うち高麗海運)
2022	38,400	38,183	76,583	16,249	7,874
2023	37,591	37,459	75,050	16,354	8,983
2024	36,753	37,447	74,200	17,667	9,108

※空コンテナを含む

2 福山港における定期コンテナ貨物航路（令和7年4月航路改編後）



3 改編後の福山港における韓国航路（週3便）

船社名	曜日	最大積載量	寄港地
高麗海運	火	954TEU	福山(火)－広島(水)－大分(木)－蔚山(金)－釜山(土)－大阪(月)－神戸(月)－水島(火)－福山(火)
長錦商船 ・ 興亜ライン	水	420TEU	福山(水)－釜山(日)－広島(月)－今治(火)－松山(火)－水島(水)－福山(水)
	木	698TEU	福山(木)－高松(木)－伊予三島(金)－徳山下松(土)－釜山(日)－釜山新港(日/月)－高知(火)－徳島(水)－福山(木)